

◆第2回ワークショップでの意見交換の内容（抜粋）

▶公園全体について（写真①②）

※ 参 参加者 市 豊平区土木部・北海道造園設計株

参 今回は水源池から下流部の計画だが、公園全体の再整備計画はどのように考えられているのか？

市 西岡公園全体を作り変えるような計画はありません。

「西岡公園再整備計画」は、将来に向けて公園を使いやすく、かつ維持管理もしやすくするための計画で、使い勝手の悪い場所の改善や、施設の老朽化対策、バリアフリー化などが主な目的となっています。これまで、管理事務所や水源池の通路・木道などを段階的に再整備してきました。

参 取水塔近くの橋も古くて危ないが、あの橋はいつ直すのか？

市 修繕等について検討し、次のワークショップで報告します。

▶はらっぱゾーンについて

参 水が溜まりやすい芝生の広場は、水はけを良くして使いやすい場所にしてほしい。

そのためには、水をせき止めている通路を低くして、平坦な広場にすべきだと思う。

市 湿地を好む植物や生き物が棲む部分は残した上で、広場が使いやすくなるよう整地の計画をします。

参 葉が無く、見栄えの悪いマツも除いた方がよい。

▶パーゴラについて

参 古くなったパーゴラは、安全面からも取り除いた方がよいと思う。

フジは元気がない。他の場所に移したりできないものか。

市 このまま移植できるかは詳しく調べる必要があります。

前回のワークショップでは、枝（萌芽）を移すという意見もありました。

参 フジは本来、西岡地区の自然には無かった植物なので、放置すると子孫を増すなど、自然環境への影響が心配される。

▶橋の架け替えについて

参 今、はらっぱゾーンに行く道が「八つ橋」だけなので、冬になると危険で渡ることができない。

市 地域の方からも、直接土木センターに「駐車場から今のパーゴラ広場へ向かう橋は必要」というご意見も寄せられています。どこに架けるのかは、この後現地で確認しましょう。

▶橋を架ける場所の確認について（写真③）

市 橋を架け替える候補地として、樹木の少ない場所を想定してみました。

参 もう少し上流の方に、もっと樹木が少ない場所がある。

市 月寒川の自然環境を現状とあまり変えないように、できるだけ川の下流（公園の敷地境界近く）に想定しました。

参 対岸（右岸）の方が低くなっているが、橋は架けられるか？

市 橋は駐車場側（左岸）の高さに設定し、はらっぱゾーン側にスロープを設けることで対処したいと考えています。

■西岡公園の再整備に関するお問い合わせ

札幌市豊平区土木部維持管理課公園緑化係（担当：小田 電話 851-1681）

北海道造園設計株式会社（担当：佐藤、佐々木 電話 758-2261）



写真①: 設計会社からの説明後、意見交換を実施



写真②: 意見を書き込んだゾーニング図



写真③: 橋の架け替え候補地を現地で確認

令和5年1月発行

西岡公園グリーンレター 3号

パーゴラ広場と駐車場周辺の再整備について

「西岡公園グリーンレター」は、西岡公園の施設改修計画策定に関する情報をお伝えしていきます。（計4回発行予定）

札幌市では、西岡公園の豊かな自然を残しながら、誰もが安心安全に利用できるように再整備を進めています。これまで、管理事務所の建替や、水源池周辺の木道の改修などを行ってきましたが、今回は水源池から下流部にある「パーゴラ広場」と「駐車場周辺」の再整備を対象にしています。

再整備の計画づくりについては、近隣にお住まいの方や公園を利用している皆さんから意見をうかがいながら進めてまいりますので、関心のある方は、ぜひ下記ワークショップ（※）にご参加ください。

西岡公園

西岡公園管理事務所

計画地

※ワークショップとは、行政、専門家、市民が互いに話し合いながら、理解を深めたり案を創り上げるための会議の手法です。

◆第2回ワークショップを開催しました

西岡公園の再整備に向けた、第2回目のワークショップ「公園の問題を考えよう!」を12月17日（土）に行い、参加者7名の皆さんと西岡公園の水源池下流部にあるパーゴラ広場、月寒川、駐車場などの再整備の対象地について意見交換を行いました。

意見交換の後は、対象エリアとなっている現地に移動し、これまで議論となっていた橋を架け替える場所について確認を行いました。

（詳しくは見開きページをご覧ください。）



第2回ワークショップの様子

◆今後のスケジュール

第1回 ワークショップ

現地見学会（令和4年10月29日（土））
みんなで公園を見てみよう!

第2回 ワークショップ

意見交換会（令和4年12月17日（土））
公園の問題を考えよう!

第3回 ワークショップ

報告会（令和5年2月4日（土））
改修後の公園を紹介します

事業スタート

設計：令和5年度以降

＜次回はこちら＞

第3回 ワークショップのご案内

テーマ：改修後の西岡公園を紹介します！

これまでのワークショップをもとに作成した西岡公園の将来像について確認して頂きます。

☆ 日時：令和5年2月4日（土）10:00～12:00

☆ 会場：西岡公園管理事務所

注1 事前の予約は不要です。直接会場にお越しください。

注2 車でお越しの方は、公園北側の駐車場をご利用ください。

注3 新型コロナウイルスの予防に配慮し、マスクの着用をお願いします。

また、発熱があるなど、体調がすぐれない方の参加はご遠慮ください。



◆ 第2回ワークショップの内容

第2回目のワークショップでは、西岡公園の立地条件や利用者のニーズ等について説明をした上で、将来に向けて公園で残すべきところ、少し手を加えるところ、将来を見据えて改善するところなど、ゾーニング図にまとめ提案をしました。

1) 西岡公園の立地条件から

西岡公園は、都市と接する自然の玄関口となる公園で、入口や駐車場周辺は、市民が集いやすく、安全で安心して使える快適な施設整備をする必要があります。

但し、公園の奥(南部)は自然が残る西岡公園の特徴を維持するため、施設類の整備は抑える方針としています。

2) 利用のニーズ

北海道大学で行った西岡公園に関するアンケート調査から、駐車場不足やトイレの改善、施設の老朽化対策、バリアフリー対応等、誰もが自然と親しむことができるよう玄関口(エントランス)の整備が求められています。



※写真：橋の架け替えについて

1回目のワークショップでは、橋の架け替え場所について議論をしましたが、今回は具体的に架け替えの候補地として、樹木の少ない場所を選び、皆さんと現地で意見交換をしました。

3) 再整備の方針

① エントランスゾーン

市民が安全で快適に公園に訪れることができるよう、駐車場の増設をはじめ、トイレ、案内板、バリアフリー園路等の充実をはかります。

② はらっぱゾーン

西岡公園で唯一の広場空間であり、小さな子どもから高齢者、そして障害のある方でも草原で楽しく過ごすことができるようにします。

② こもれびゾーン

今も散策やイベント等で市民に活用されている疎林の空間で、老朽化したベンチ等を更新し、より快適な利用ができるようにします。

③ 樹林ゾーン

観察の場として今の自然状態を維持します。なお、倒木や危険木処理の対処のため、管理用車両の通行や樹林の手入れは行います。

④ 水辺ゾーン

市内でも希少な自然の小川にふれられる水辺空間であり、草木が減った部分に植栽を補うなど、緑豊かな水辺を維持します。



都市 → 自然が深くなる

